

令和7年度 学校評価計画

京都教育大学附属高等学校

1. 教育目標

穏やかな校風と自主自律の伝統のもと、自由な発想と創造性をもって未来を切り拓くことのできる生徒の育成

2. 教育計画（年度重点目標）

- (1) 知識・技能の習得のため、基礎・基本の徹底を基盤とし、教科間連携の充実をはかり、生徒が主体的かつ協働的に課題を発見しその解決に向けて探究することで、総合的な学力向上につながる探究型授業の充実
- (2) 生徒一人ひとりを大切に、それぞれの希望進路の実現に向けた、計画的な進路指導及び支援体制の確立
- (3) 社会人としての素養を身に付け、自律的で高い人権意識を持った生徒の育成
- (4) 現代的教育課題に則した教育研究の成果の還元と新たな開発
- (5) 学校教育活動の情報発信の効率化と活性化
- (6) 生徒・教職員の心身の健康及び安全に配慮した、教育環境の整備と充実

3. 本校の特色

本校は創立当時から、自主自律の精神を重んじ、高い知性・健康な身体・豊かな情操の調和した人間形成に努め、生徒の能力・適性・進路などに応じた教育を進めています。

理系文系を問わず探究活動を通して、教科の学習を基盤とした確かな学力に基づき、他者と協働して問題解決をはかることができる人材の育成を目指し、教育活動に取り組んでいます。近年では、文部科学省より各種研究指定を受けて、本学との連携を軸に、他の大学や研究機関、他国の高校生との連携もはかりながら、生徒の主体的、自律的参加を促す様々な課題研究プログラムを開発してきました。

これからの社会に求められる「問題解決力」と「人間力」を併せ持つ人材の育成を目指して、今までのSSHにおいて蓄積したノウハウを“リベラルアーツ（＝物事を多面的に捉え、課題解決に活かすための基礎的で多様な知識）”の観点で整理し、その修得を活動の中心においた探究型課外活動「京教リベラルアーツアクティビティ（京教 Liberal Arts Activity：京教 LA²）」として展開しています。生徒一人ひとりが本校の伝統である自主自律のもと、人文・社会・自然科学分野に深い関心と幅広い視点を持ち、総合的な発想力や個性を発揮することで、知的な感性を磨くことを目指しています。また、京教 LA²と総合的な探究の時間との有機的な接続・連携を視野に入れて取り組んでいきます。

4. 京都教育大学附属学校園の目的

教育の実験，実証並びに実習の機関として，本学に附属学校（幼稚園，小学校，中学校，義務教

育学校，高等学校及び特別支援学校）を置く。（本学学則第56条）

本学附属学校は，児童，生徒又は幼児に対して，学校教育法に定めるところにより，教育又は保育を行なうとともに，本学における児童，生徒又は幼児の教育又は保育に関する研究に協力し，本学の計画に従い，学生の教育実習の実施に当たることを目的とする。（本学附属学校規程第2条）

5. 附属学校園の機能向上に関する取組

- (1) 教育研究活動の成果を公表する。
- (2) 大学と附属学校園とが連携した研究を実施する。
- (3) 総合教育臨床センター学びサポート室と連携する。
- (4) 業務改善及び教職員の働き方に関する取組を推進する。

6. 教育計画（年度重点目標）に関する具体的な取組

- (1) - 1 各教科における基礎・基本の徹底を基盤とし、自らの課題を設定し、問題解決に活用できる総合的な学力を育成する。
- (1) - 2 教科間の有機的なつながりを強化し、思考力・判断力・表現力に加え、読解力の育成を目指した総合的な探究型授業を充実させ、高大接続改革で求められる学力を定着させる。
- (2) - 1 学年、分掌の綿密な連携を基盤とした指導体制のもと、個々の生徒に適した進路指導を実践し、生徒一人ひとりの進路実現に向けたきめ細やかな支援を図る。
- (2) - 2 3年間の進路指導計画に沿った進路ガイダンス、進路ホームルームなどを通じ、生徒、保護者に対して、適切な進路情報を効果的に発信する。
- (3) - 1 教育活動や自主的な活動など様々な機会において、自律した人間として自己管理ができる生徒を育成する。
- (3) - 2 他者と協働する様々な活動を通して、自己理解を深めることで多様性への理解につながる、高い人権意識を持った生徒の育成に努める。
- (4) - 1 現代的教育課題に則した教育研究を推進し、その成果を地域の学校等に還元することで、研究校としての使命を果たす。
- (4) - 2 総合的な探究の時間や京教リベラルアーツアクティビティを活用し、本学との連携強化を推進し、教科融合型の探究活動を軸とした授業開発を推進する。
- (5) - 1 全教員の共通理解のもと、小中学生・保護者や教育関係者に、本校の教育活動の特徴を具体的かつ積極的に発信できるよう、効果的な広報活動を展開する。
- (6) - 1 生徒・教職員の心身の健康及び安全のため、教育環境整備の必要な箇所を精査し、効果的かつ効率的に整備を進めていく。

7. 附属学校園の機能向上に関する具体的な取組

- (1) - 1 教育創生リージョナルセンター機構との連携、京都府・市教育委員会との後援により、教育実践研究発表会を開催する。
- (1) - 2 「研究紀要」、「総合的な探究の時間報告書」、「京教リベラルアーツアクティビティ報告書」を刊行し、本校の先進的な取組を積極的に発信する。

- (2) - 1 大学と附属学校園とが連携した共同研究「教育研究改革・改善プロジェクト経費」に申請し、中高一貫校として探究活動及びグローバル教育を推進する。
- (2) - 2 総合的な探究の時間や京教リベラルアーツアクティビティにおいて、本学学生及び院生の教員養成の場として活用するとともに、大学教員との連携・研究を進める。
- (3) - 1 特別支援教育コーディネーターを中心に、学びサポート室と連携し、教育相談会議を活用し特別な配慮を要する生徒への支援並びに希望進路実現に向けた教育を実践する。
- (4) - 1 校務の効率化・情報化とともに、学校行事や教職員の役割分担を見直し、学校業務の適正化を図る。

8. 年間計画

年月	内容
令和7年3月	学校運営方針、重点教育目標等策定
令和7年4月	教育目標と具体的な取組策定並びに保護者・生徒への周知 学校評価計画を大学へ報告
令和7年5月	学校評価計画を学校ホームページへ掲載 学校評議員候補者の確定
令和7年6月	
令和7年7月	
令和7年8月	
令和7年9月	
令和7年10月	教育目標と具体的な取組自己評価（中間）作成
令和7年11月	第1回学校評議員会実施
令和7年12月	3年生保護者・生徒アンケート実施
令和8年1月	1、2年生保護者・生徒アンケート、教員アンケート実施
令和8年2月	教育実践研究集会参加者アンケート実施 教育目標と具体的な取組自己評価（最終）作成
令和8年3月	第2回学校評議員会実施・学校関係者評価実施 学校評価結果及び改善策とりまとめ
令和8年4月	学校評価結果及び改善策概要等を保護者へ周知
令和8年5月	学校評価結果及び改善策を大学へ報告
令和8年6月	学校評価結果を学校ホームページへ掲載